

## 広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

### 招 集

令和4年12月19日(月) 予算決算委員会終了後 議会第1会議室

### 出席委員(8名)

(委員長) 西 野 太 一 (副委員長) 伊 藤 ひろえ  
岩 崎 康 朗 門 脇 一 男 錦 織 陽 子 森 田 悟 史  
矢 田 貝 香 織 吉 岡 古 都

### 欠席委員(0名)

### 出席した事務局職員

松下局長 田村次長 長谷川議事調査担当係長

### 傍聴者

森谷議員  
報道関係者0人 一般0人

### 協議事件

- 1 広報広聴委員会の今後の進め方について
- 2 その他

~~~~~

### 午前10時20分 開会

○西野委員長 ただいまより広報広聴委員会を開会します。

広報広聴委員会2回目になりますかね、皆様で集まるのは、  
よろしくをお願いします。

前回10月12日に開催された広報広聴委員会ですけど、まず意見交換会、こちらの検討ですね。

今までのこの各自治会に行っていた意見交換会ではなく、各常任委員会がメインになって、例えば商工会、PTAなどと調整して開催という流れで進めていこうということになってますが、御意見ありますか。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 広報広聴の議会報告会というところから、交換会に代えるということにつきましては、今後の市民の皆様との垣根を低くしていくということが大変大事なことだと思うんですけども、そのためには今までの議論を整理して軌道修正していく必要があるというふうに考えております。

○西野委員長 ほかに御意見は。

これもう1期目ではちょっと難しいかなと思います。我々1期目が案を練って、2期以降に各常任委員会で意見交換会をやっていけばいいかなと、急いで何もまとまらずに始めるよりは、我々1期目でしっかりと土台を作ってから、次回2期目で実行していくという形。

○岩崎委員 1期目でなく、1年目。

○西野委員長 ああ、1年目ね。

1年目で無理して1年目の5月にやろうとかではなくて、1年目はゆっくりちょっと煮詰めて、それで2年目に開催という形でというタイムスケジュールで考えていますが。

その点はどうでしょう。

錦織委員。

○錦織委員 それでいいと思いますけど、ただ議会があるごとについていうことだったら、もう本当に3月議会とか2月議会だけになっちゃうんで、例えば一月に1回はこうやっていくとかしないと、なかなか間に合わないんじゃないかなと思ってます。

○西野委員長 広報広聴委員会の委員会のこの会ですね。

1か月に1回のペースで。はい、そうですね。

じゃあ、1か月に1回のペースで委員会を開催するということで。

〔「はい」と声あり〕

○西野委員長 議会だよりのことも兼ねてもそうですし。

ではそういう流れで進めていきましょう。

では、1番の意見交換会ついて、そのほか御意見は。

大丈夫ですかね。

伊藤委員。

○伊藤委員 はい、じゃあ議会報告会は条例・要綱などでは年に1回以上するというふうには一応なっていますが、整理をしますとさっき委員長、また御意見があったように今回は十分に次の段階に進むための、練っていくというような期間ということで今回1年目というのは議会報告会をしないということでもいいですか。そういう理解でいいんでしょうか。

○西野委員長 そういう理解でよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○西野委員長 続きまして、2番の議会だよりについていきます。

こちらは、以前の10月12日開催の委員会でもQRコードの活用というのが議論に上がりましたが、こちらのほう、このQRコードどこに飛ばすか、ということなんですけど。

○岩崎委員 僕たちはこの協議事件にそれが書いてないんだけど、議会だよりにってというのが。

○門脇委員 ここ1枚めくって。順番が。

○錦織委員 まとめて書いてあるのが。

○岩崎委員 ああ、これね。すみません、すみません。最初のレジユメ見てました。失礼しました。ごめんなさい。

○西野委員長 QRコードを各議員の議事録に飛ばすっていう意見もあったんですけど、議事録だとちょっとタイムラグ的に難しいということがありまして、個人のQRコードに飛ばすのは動画ですかね。

あれがいいんじゃないかということなんですけど。

事務局。

○松下事務局長 今、委員長が言われたQRコード、どこに飛ばすかということなんですけど、先ほどお話がありました初めは会議録がいいんじゃないかということでしたけれども、会議録は作成、完成するまでにちょっと日数を要することと、それと会議録と

というのは、最初から最後までまとまった形になっていますので、何日目の何番目に飛ばすってというのが非常に難しいです。それで先ほど委員長が言われた議会のインターネット中継の録画中継の中で議員ごとの発言の動画が見れるようになっていきます。ですから、そこにQRコードを飛ばして、例えば西野議員のQRコードから入ると、西野議員の過去発言したところが動画が一つずつ見れるようになっていきますので、そういった形がいいんじゃないかというのが委員長の御提案でございました。

**○西野委員長** この柏市の個別の名前があって、QRコードが載っている感じですかね。こんな感じがいいんじゃないかと。

**○岩崎委員** はい。よろしいかと思えます。

**○門脇委員** いいと思えます。

**○西野委員長** あとは縦書きを横書きにというのもありましたけど、3月号から変更を検討するという意見がありました。印刷会社含め、いろいろこれからまた煮詰めなきゃいけないくて、3月号から変えられるところは変えていこうかなと、この柏市のみたいにドカンと一気にガラッと変わりましたというのはなかなか3月号からは無理じゃないかなという考えがありまして、まあ例えばQRコードをつけるくらいでしたら3月号からいけると思えますので、まあその辺ちょっとまた1か月に1回委員会を開いてどこがいけて、どこがいけないか、どこ変えられるかというのをいろいろ進んでいけるんじゃないかと、とりあえずQRコードでしたらいけるのか。

いけますよね。

**○長谷川議事調査担当係長** いけると思えます。

**○西野委員長** ですよ。

はい、あとは印刷会社さん今後含め、話をして行って、あと委員会でも横書きにしたいとか、こういうのを増やしたいとかいろいろな意見をまた言っていただければ、とりあえずできるところから、とりあえず3月がらっと変える訳ではなく、できるところから徐々にやっていきたいなと思っております。

御意見いかがでしょうか。

伊藤委員。

**○伊藤委員** 事務局に伺っていいですか。議員の質問のところだけではなくて、例えば決算の指摘だとか、決議文だとか意見書、賛否の分かれるところなどもQRコードを追ってホームページに飛ばすってようなことができたらいいなと思ってるんですけども、そうすると紙面の文字が小さくならないかなと思ってるんですけど、その場合ホームページに今その意見書とか各コーナーってのがないですけども、それは事務局のほうで作成可能ということでもいいんでしょうか。

**○長谷川議事調査担当係長** 現在のホームページ上では、この指摘事項とか決議事項とかってページはないんですけども、これを新たに設置すれば飛ばすことは可能だと思いますし、さほど時間は要しないんじゃないのかなと思っております。

**○伊藤委員** はい、ありがとうございます。でしたらそのようにしていただいて、できるだけ紙面は簡潔に見やすいというふうにしたいと思います。以上です。ありがとうございます。

**○西野委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 今、横書き縦書きのとあったんですけど、例えば横書き縦書きが中にまあできるところからみたいない感じだと、今思ったんですけど、横書きだとこの開き方がやっぱり縦書きと反対になりますよね。これうまくいく。ちょっと調整具合が。横書きだとこっち側からこういうふうに。今確かこっちからでしょ。うまい具合に調整が。

**○西野委員長** その点も印刷会社さんと調整しながらやっていきたいなど。

その印刷会社さんと話をする前にやっぱりどんなことを載せたいのか、どういう感じにしたいっていうのをある程度まとめて持っていかないと印刷会社さんもじゃあ、どうしたいんですかってなっちゃうんで。

まあその辺は1月あたりの委員会で煮詰めていきたいなと思っています。

**○錦織委員** 今、議会でなくて、県の広報とか米子の広報もこうですよ、開きがある。それでこっちが、こういうふうになると綴りにくいということがある。統一していないと。今までのやつとね。それで今までというかほかのやつと一緒に配られるのでね。そこから辺はどうなのかなって言って、あるとき一斉にみんな変えようと感じになるのか。

**○西野委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 以前もその議論があって、やっぱり横書きっていう話になったときに綴りが違うと困りますって言われたりとかしました。自治会の辺りからね。なので、ちょっとそこは慎重にいろいろ考えてみたらいいんじゃないかなと、今後、と思います。

**○吉岡委員** 委員長。一件いいですか。

**○西野委員長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** 年度ごととか分からないんですけど、綴る人は逆になるんですけど、ほかの文書がほとんど横書きで、こう開きで綴っているんですけど、この議会だよりとかだけ、反対にこっちから開くようになってるので逆にこう並んでいると変なんですよ、むしろ。議会だよりだけが逆開きなんで。だから、ほかの文書全部こっちが表なのに、私も自分のところに置いてあるけど、あれだけ逆なんでちょっとそっちのほうが見覧性がないので、年度ごとで区切りがいいところから変えさせてもらえば、そこから綴ってもらえばいいのかというふうに思うので、そこはあまり気にしなくてもむしろいいのではないかなと思います。

**○矢田貝委員** いいですか。

**○西野委員長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 私はどこかいいタイミングで決めて行って、ほかのところを引っ張っていくくらいな大きな決断があってもいいかなと思うんですけど、2つあるんですが、これは御提案いただいたサイズと質感なんですけれども、今までの米子の議会だよりの質感、サイズ感で横のイメージをするためにこれを頂きましたかっていうのと、それからホームページのことまで議論するのであれば、まあその話合いの会の開催回もあると思うんですけども、広い意味で市議会だよりも添付されていますが、議会のホームページの中に。と動画につなげるということであれば、そこに字幕スーパーが入るようになっているとか、いろんな提案もあるので、ぜひそれは1回ホームページについてというテーマで開催をお願いしたいなというふうに思います。

**○西野委員長** ホームページに議会だよりを載せるみたいな。

**○矢田貝委員** リンクというか市役所のホームページにも、市報というところが、過去の

市報まで読めますよね。それらも米子市議会のホームページの中から市議会だよりの過去のリンクをクリックすれば出てくるっていうところも提案したいなと思っているところなんですけれど、先ほど伊藤委員がホームページのところの御意見おっしゃったので、この広報の中で米子市議会のホームページどうなのかというところを検討していただく回もぜひお願いしたいです。

**○門脇委員** 議題で上げる。みんなでどういうホームページにするのがいいのかっていうのを。

**○矢田貝委員** ちょっと分かりにくいんで。議事録検索もほかのところに混ざっちゃって、今見えにくいんですよ。前に比べて。なのでよりよくするための。

**○西野委員長** 横書き縦書きについては、どうしましょう。

今決めちゃいましょうか。

もう、どんどん、どんどんやっついていかないと多分1月またこの話したら、また進んでいかないんで。

伊藤委員。

**○伊藤委員** 私も別に指定しているわけではないんだけど、このB4サイズだと横書きが見やすくっていいのかもしれないですけど、A4になったときの横書きってどんなイメージになるのかなって、やっぱりそこまでちょっと考えてからのほうがいいんじゃないかなと思ったりします。なので、やっぱり1月までに皆さん意見をまとめてくるっていうのがいいんじゃないかと。

**○西野委員長** では、1月で。すみません。

**○矢田貝委員** A4の横の見本ってないんですか。

**○西野委員長** えー、どっかやっているかもしれないです。

**○伊藤委員** あります。どっか。

**○西野委員長** 事務局、取れないですかね。A4でやっているところの。

**○長谷川議事調査担当係長** 探してみます。はい。

**○西野委員長** できれば、1月の委員会の前に委員に渡るような感じでお願いします。

では議会だよりについてほかに御意見は。

吉岡委員。

**○吉岡委員** 内容についてまた今後議論してもらったらと思うんですけど、委員会のことがトピックで載ってるんで、なかなか委員会のことまで、でも端的にこう市民生活に直結するようなこともあるので、ここの委員会のトピックスがあるといいなと思います。だからいろんなものの記事を削ったところにもっと市民の人に知らせたいことがポンっと載ってくるといいかなと思いますので、また議論の中に入れてもらえたらと思います。

**○錦織委員** かなりあれじゃない、字が小さいよね、この分は。今のうちのは大きいけど。若い人が多い地域かもしれないし。

**○西野委員長** サイズ感としてはどうなんですかね。

こっちのほうがいいのか、それとも今までのほうがいいのか。

**○伊藤委員** すみません、何度も。今までの広報広聴委員会でも、市民の方から文字が小さいっていう苦情がたくさんあって、ちょっとずつ改善をしてきて今現在では一番読みやすいことになっていると思うので、ここからまた小さくしてしまうとせっかくここまでや

ってきたのによって感じがありますから、やっぱり文字が小さいところは極力なくすというのがいいんじゃないでしょうか。鳥取市議会の資料も頂いてますけど、この中でもやっぱり文字が小さくて見えづらいというのがたくさん出てくるので、これからの時代見られる方が文字が小さくて見えにくいとか、文字がたくさんあるから読む気がしないとか、そういうようなことでない紙面にしたいなと私は思っています。これまでの議論で文字が小さいのは駄目だねっていうふうなところは随分出てきたと思っています。お願いします。

○西野委員長 これ自体の大きさは。

○伊藤委員 このB4ですか。

○西野委員長 ですね。

○伊藤委員 B4の紙面っていうのは、やっぱり財源を確保しないとイケないので、それは事務局との。

○西野委員長 ああ、財源によってくるのか。

○門脇委員 今、米子市は議会だよりってあれはA4ですか。

○伊藤委員 A4。

○西野委員長 それで、これにB4に変わるということはお金がかかると、単純に。

○矢田貝委員 だけん、この紙質なんじゃない。

○門脇委員 そうそう。これ折らないといけんし。

○伊藤委員 高い、高い、高い。

○矢田貝委員 高いの。ああ、そうなんですね。なんかしっくりくるもんね。

○門脇委員 でもこのままじゃ、多分回覧で回ってくるのはここじゃダメなんじゃない。きっと折らないと。だから制限されますよね、紙質。

〔「そうそう」と声あり〕

○岩崎委員 市報もね、市報のサイズ。

○西野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 多分、配布方法が米子市みたいに自治会経由とかじゃないことが都会は多いって聞いているので、このポスティングとかそういう対応でこういう形になっているのの一つあるのと、あと字がちっちゃいという問題なんですけど、結局、人によっては見出ししか見ないので、この見出しを大きく見てもらいたいところを大きくしようと思うとやっぱりA4ではちょっとそれが難しくなるので、細かいマニアックな人が読むところはちっちゃい字でもいいけど、一般の人に本当に分かってほしいところは大きく見出しでできるというのがやっぱりこのサイズのメリットかなって思います。メリハリですよ、ただのポイントじゃなくって文字の。

○西野委員長 そこはやっぱり予算によってくるんですよ。

○松下事務局長 予算は必要ということであれば、必要な予算の確保に努めるということは基本的なことなんですけれども、今、米子市の市議会だよりとか、広報よなごと一緒に入札とかかけております。その辺を単独、恐らくサイズが変われば単独になるでしょうし、そこら辺りは費用的に高く、単独でやれば高くなるのかなというのが一つありますし、今、米子市が話が出ましたけれども、配布が自治会にお願いして配っているということで、例えばこのサイズだと折らないといけないということで、じゃあ誰が折るのかという折る作業が増えてくるという中で多分A4がほとんど今統一様式で、昔B4サイズがあ

ったのを、B5とかB4とかありましたよね。それを統一的な様式にするというのでA4サイズに統一しましょうという推奨例の前にそういう改革があって、要はB5も入っている、B4も入っている、A4も入っているというのは非常に非効率だということでA4サイズに統一した経過があります。そういう中で自治会で例えばB4サイズを他の配布物と一緒にということになると、やっぱり折る作業っていうのが出てくるんですけども、それをじゃあ、誰がどのようにやるのか、お金をかけて業者に折ってもらうのか、それとも職員が一枚ずつ折っていくのかというそういう問題も少し含んでいるのかなというふうに聞いていて思いましたので、添えたいと思います。

**○西野委員長** A4の横書きのちょっとほかの自治体を、議会だよりをちょっと取得して、それでちょっと決めましょうか。

どんな感じかっていうのを。

まあ、それを縦書き横書き、はい。

じゃあ、議会だよりについてほかに御意見は。

〔「なし」と声あり〕

**○西野委員長** 次行きましょう。

次は中学生議会の開催です。

こちらも前回の委員会で発言がいろいろありましたけど、我々先日、矢田貝委員ともお話をさせていただいて、我々がやりたい、やりたいと言っても先生方の協力とかがないと、これは実現しないなということで、今、議長も教育長とお話をしているようなので、その辺がちょっとすぐにはできないかなという感じで僕は受け止めております。

なので、早くて令和5年の8月の夏休みに開催できたらいいかな、まあそれを先生方の協力がないとできないので何とも言えませんが、ということですが、御意見お願いします。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** この学校のサミットにつきまして、皆さん、新しい方にもお伝えしたいと思って教育委員会のほうともやり取りさせていただいた中で、とてもハードルが高いなと感じました。それと私たちができる姿勢としては、どうぞ議場を、また5階の各会議室も会場としてお使いいただいた上で今までされてきたこのサミットについて、使っていただけますよっていう表明をするっていうところくらいまでが、このサミットに入り込む距離感かなというふうに思いました。なので、新たな希望する中学生等がここを使って何かしたいという話とサミットを引っつけないほうがいいかなっていうふうに思っています、今のところ。

**○西野委員長** いいですか、サミットっていうのは。

**○矢田貝委員** ですね。そこを多分伝わらないと思って、それを伝えるために何かいいものないですかと言ったんですけど、結局その出てくる資料的なものがなかったんですけど、各中学校の代表等が集まって、文化ホールでステージ上でやり取りをしたり、その後、グループミーティングしたりというようなことで、生徒さんたちが、居心地がよいというか、誰でも安心して過ごせる学校づくりっていうところの目的でサミット、各校の取組をやっているっていうところがあります。そのことと、議会とやることを引っつけるというのが、多分私が言い出しっぱだったんじゃないかなと思うんですけども、ちょっと難しいです。それとまあ、即、次有権者になっていくっていうようなことを思ったら、中学校

じゃなくて高校なんだろうなっていう感じがします。もし生徒に向かってするっていうんであればですね。

○西野委員長 ほかに御意見は。

錦織委員。

○錦織委員 県議会でもね、高校生議会とかね、高校生だけじゃなくって大学生もまあ、あるときは来たりとかってしたんですけど、それを手を挙げてもらう高校とか、それで議員が1人つくんですよ、それでどういうふうにして質問やり取りするのかとあって、それで先生ももちろん関わってもらわないといけないんで、そこは大変かなというふうに先生方にはなっていていただく感じで、だけど質問はもう当局に対してね、市長だとかにするんで、子どもさんが中学生だとはいえ、すごく大事なことをね、やっぱり言われる、子どもながらも大事なことも出されるのでいろいろ提案もしたり、疑問もぶつけてこられるので、すごくいいなというふうに思いますけどもね。今までここ米子市議会でやってなかったのかな、全然。

○岩崎委員 1回もないです。

○錦織委員 それで議員もね、緊張するんだがね、だけん。何かその担当なった人がね。

○矢田貝委員 1人に1人つく。

○錦織委員 1人に1人っていうことでね。

○門脇委員 委員長いいですか。

○西野委員長 門脇委員。

○門脇委員 あと、どうなんですかね。米子は高専がありますけど、結構主権者教育を熱心にされてますんで、結構こういう提案されたら、協力っていうか、積極的に来られるような気もしますけれどもね。今ちょっと中学生がなかなか難しいなってことでしたら。

○西野委員長 それは高専生だけでやるってことですか。

○門脇委員 いや、高校生も一緒でもいいですけど、多分高専のほうがこういう理解といいますかね、とっつきやすさは高専のほうがあるんじゃないか、私の勝手な考えですけど、あるんじゃないかなと思いますけども。

○西野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 加藤博和先生が主権者教育の専門なんで、先生がおられるっていうだけでも高専のほうがとっつきやすい感じはしますけども。

○西野委員長 そうなると高専生だけでやる。

○門脇委員 で、できれば。まあ、あの最初ですので、なかなか分からない中で出発しますんで、難しい面はあるかもしれませんがね。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 基本的には私は主権者教育だし、民主主義を学ぶということで子どもたち、子ども議会っていうのはすごく賛成なんですけども、広報広聴委員会でその子どもたちの意見を聴くっていうことなのではなかったら、ほかの議会もただ場所を貸しているだけっていうのはたくさんあるんですね。今、矢田貝委員がおっしゃったように、まずは米子市議会、皆さんに使っていただけますよっていうようなことを周知をする、広報するというようなことから始めて、それから高専の学生さんがどうだろうとか、中学生とどうだろうというようなことをちょっと私たちの中でも気持ちを醸成していったら、そこに向かって

行くというようなことでやってみてはどうなのかなと思ひまして。まず第一歩としては議事を皆さんに使っていただくことはできますよというようなことで主権者教育の一歩として。

○西野委員長 では、サミットから入るといふことですか。

○門脇委員 サミットはちょっと違ふ。

○西野委員長 違ふ。サミットは違ふ。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 議長と教育長とのやり取りと聞きましたけれど、ちょっとあんまり中学生とかターゲットではなくて、今、伊藤委員がおっしゃったみたいに、議場の解放っていうところを私たちが今メンバーの機関として意思表示ができるような準備ができればいいかなっていうところで、ということですよ。問題はそのことをやるということ、議会事務局の人たちのいろんな操作だったりとか、手間がかかりますが、私たちがいいよいいよって言っても、大変なんじゃないかなっていう気はしています。

○西野委員長 どうでしょう。

○松下事務局長 あの、もちろん今の目的ということ、それこそ主権者教育につなげたりとか、開かれた議会を目指すためにこういうことをやりたいって、もちろんその事務局もサポートする必要があるんで、それはもちろんさせていただきますので、今、議場の解放というのが出ましたけれども、前回のときにも私が言いました、市民の財産なので、使うことはもちろん大丈夫ですよっていう話をしたんですけども、じゃあその解放しますよって言ったときに、じゃあこういう会をしますのでお願いします、お願いしますって言ったときに、やはり何か基準といいますか、そういうものは必ず必要になってきます。例えば、高校生の使用はいいけど、地域の人には解放しませんよとか、そういうところの基準といいますか、それはある程度のもをつくっていただかないと、議会事務局もこれはいいけど、あれは駄目だとかっていう、毎回議長に確認しながらという作業もできませんし、アナウンスするときに、こういう基準で解放しますよという、そこは必ず必要になってくるかなというふうに思ひます。

○西野委員長 大人は当選してからっていう、選挙で当選した人だと、議場を使えるのは。

○松下事務局長 議場を解放するというのは、何のこういう目的のためにという、その目的のところをしっかりと持っていないと、その目的に合致するものであれば、基本的に許可をするんだけどもという、その部分です。

○西野委員長 解放って言ってもね、やっぱり、大人はやっぱり選挙にね、出て。

そういうことで中学生議会の開催ということ、ちょっとこれもいろいろ煮詰めないとちょっとハードル低くしてとりあえず始めないと、議場解放して。

伊藤委員。

○伊藤委員 さっき事務局長も言ってくさったみたいに、どういう目的でとか、じゃあどういふふうで開催するんだったら、どこまでできるだとか、何かルールづくりをね、それを始めたらいいいんじゃないかなと思ひます。

○錦織委員 ちょっとすみません。私、もう一つその議場の解放っていう、理屈っていうか、それがもう一つ分からないけど、それは子どもに限ったことじゃなくって、市民一般にもっていう気持ちでおられたのかな。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 どうぞ一つの会場としてということではありません。その政治、市議会というところに興味を持っていただくためです。こんなところだな、と知っていただくという意味ですので、グッと狭まってくると思いますし。委員長、中学生議会議場というところの項目を1回取っ払っていただいたほうがいいかなというふうに。すみません、私が言いましたけれども、取下げでもいいくらい。ここに1項目として残すと、もしかしたら皆さんの混乱の元になるかもしれませんので。次については議場をどのように使っていたのかというようなテーマでですね、もし残していただくのならばと思います。

○西野委員長 そうですね、まだルールづくりを、議場解放に向けてのルールづくりというか、そういうのをちょっとつくっていかないと、なかなかこの中学生議会議場もちょっとまだまだ難しいかなという感じですか。

吉岡委員。

○吉岡委員 ちょっと論点がずれますけど、この、もう既に中学生の方のサミットって理解をされているというところに、私たちが出かけに行って、それを傍聴させてもらうことも広聴の一つなんじゃないかなって思うんで、無理に私たちが開催するというか、ここから行かなくても、これって傍聴ができるんですか。

○伊藤委員 できます。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 私は日程が合ってませんから、行ってませんけれども、もう既に行かれています議員さんもらっしやいますし、議会質問でも何名か取り上げてもらっしやるので、検索すれば引っかかってくると思いますし、それからこれがサミットであって、議会ではないです。目的がそもそも違いますので、自分たちが自分たちの学校を作り上げていく自治の取組の一つです。私たち、子どもの時に児童会そのものがあった、会長とかがありました。いつか、そこの自治会活動、生徒会活動というのが小学校においてはなくなり、今若干、何だか会というのが残っているけど、やっぱり長はつけないというそういった中で、自治というのはもう1回みんなの居場所として誰もが来ていいんだよという、その学校づくりのためにスタートしている。それを横に展開していこうというサミットですので、それと中学生議会議場という言葉とが引っついていて、こと自体がちょっと無理があるかもしれません。

○西野委員長 ほかに御意見はありませんか。

まあ、中学生議会議場の開催については議場の解放ルールづくりから、ということで進めていきたいと思います。

これも1月の委員会でよろしいでしょうか。

ほかに御意見ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○西野委員長 以上で広報広聴委員会を終了させていただきます。

午前10時56分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長      西 野 太 一